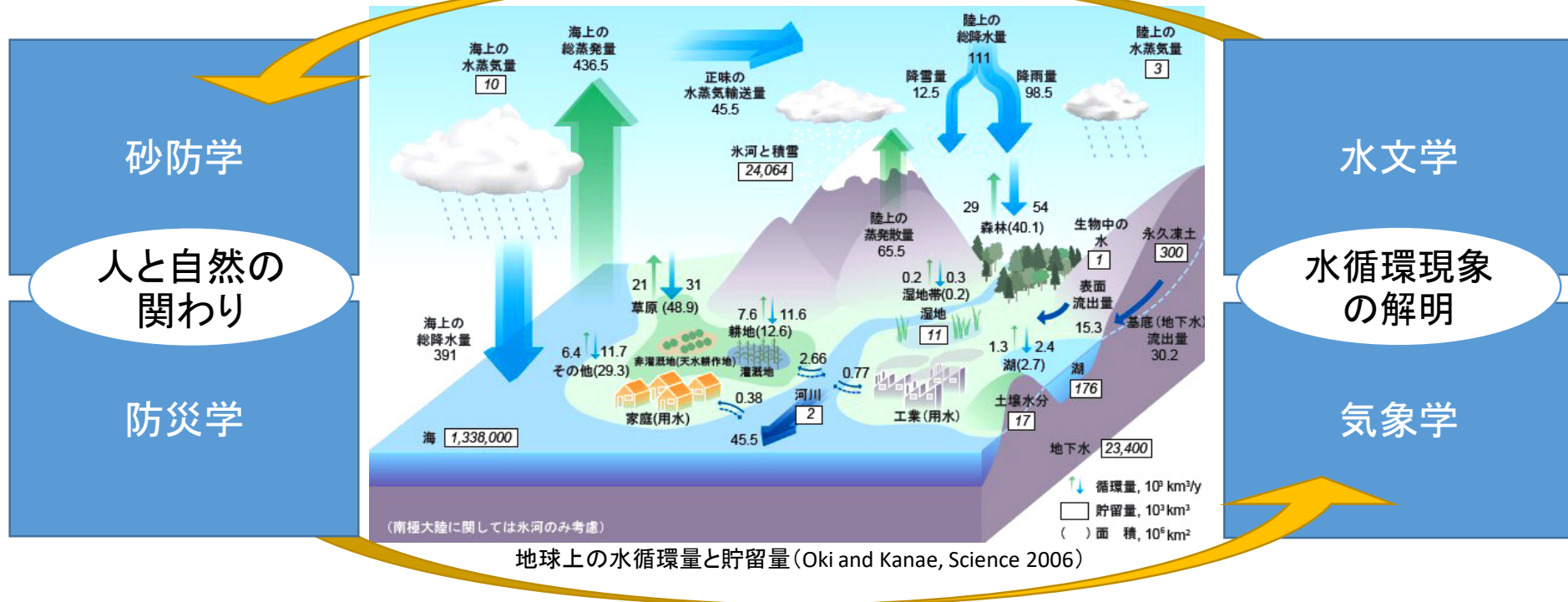


森林水文・砂防学研究室

Forest Hydrology and Disaster Mitigation Sciences



森林をはじめとする陸域生態系における水・物質循環,
土砂災害などの自然災害と人間社会との関係に関する研究を
行っています。野外調査, 社会調査, 数値モデルなど様々な方法を
駆使して取り組みます。

卒業論文のテーマ

地球環境変動から
地域防災活動まで

多様な見方
多彩な方法

共通するのは現場主義
まずは体験しよう！

- 平成18年岡谷土石流災害の再考 -ハード対策とソフト対策の連携への示唆-
- 名古屋大学東山キャンパス内の緑地における気温の時空間変動
- 住宅地に突入した土石流の動態 昭和13年の阪神大水害を対象として
- 「台場クヌギ」、その実態と可能性
- 名古屋市はどのような公園を目指したか。それは川名公園にどのように生かされているか。
- 「水を育む森」などを組織論から考える
- 東シベリアカラマツ林における林内乱流特性に及ぼす群落の影響
- 防災行動計画タイムラインの策定とその課題
- 東シベリアカラマツ林における植生変化が樹木根系の吸水特性に及ぼす影響
- 多自然型工法が魚類に与える影響
- 小学校の廃校が地域の暮らしに与える影響～地域コミュニティの醸成という観点から～
- 昭和10年代に施工された小型砂防堰堤に土石流減勢効果はあるのか？



教員スタッフと研究テーマ

人と自然の関わりの多層性・多義性に留意して その実態を把握と解明を通して
その在り方をグローバルからローカルな視点で提言することを目指します。

とくに森林など様々な土地での水循環の動態および地域社会と災害脆弱性について探求しています。



田中隆文

森林の機能に関する社会と科学の認識の乖離
土地利用履歴を踏まえた防災システムの推進



小谷亜由美

大気境界層水文気象学, 陸域生態系-大気間の熱・物質輸送過程
凍土-植生-大気(+人)システム相互作用
(とくにシベリアを対象としていますが, 地球上どこでも!)